

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」は、首都圏の空港や港湾に依存しないで国内外の人やモノの交流を活発に行えるよう、県内の空港や港湾の機能の強化と活用を進める様々な施策で構成されている。

1. 政策 33 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 27.1%、低認知度群は 72.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（33.8%）が女性（20.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（32.3%）が 65 歳未満（25.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

仙台圏域（37.4%）では、回答者全体と比較して 10.3 ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域（19.0%）では、回答者全体と比較して 8.1 ポイント低い。

(%)

政策 33 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.1	25.0	27.1	54.1	18.8	72.9	100.0

性別	男性	3.4	30.4	33.8	50.8	15.4	66.2	100.0
	女性	0.8	19.6	20.4	57.6	22.0	79.6	100.0
年齢別	65 歳未満	1.9	23.1	25.0	56.0	19.0	75.0	100.0
	65 歳以上	2.8	29.5	32.3	49.4	18.4	67.8	100.0

圏域別	仙台	1.9	35.5	37.4	45.5	17.1	62.6	100.0
	仙南	2.6	25.1	27.7	56.8	15.4	72.2	100.0
	大崎	1.3	23.8	25.1	57.3	17.6	74.9	100.0
	栗原	3.8	26.2	30.0	49.8	20.2	70.0	100.0
	登米	1.9	23.7	25.6	54.1	20.3	74.4	100.0
	石巻	2.7	20.7	23.4	57.1	19.6	76.7	100.0
	気仙沼・本吉	0.4	18.6	19.0	59.9	21.1	81.0	100.0

有効回答者数 1,599 名

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 38.4%、低認知度群は 61.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(80.0%)では 41.6 ポイント、石巻圏域(45.4%)では 7.0 ポイント高い。

栗原圏域(0.0%)では、回答者全体と比較して 38.4 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 67.1%、低認知度群は 32.8%である。

(%)

政策 33 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.1	36.3	38.4	53.2	8.5	61.7	100.0	
圏域別	仙台	2.6	37.9	40.5	49.1	10.3	59.4	100.0
	仙南	1.8	32.7	34.5	58.2	7.3	65.5	100.0
	大崎	2.6	34.6	37.2	55.1	7.7	62.8	100.0
	栗原	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0
	登米	0.0	80.0	80.0	20.0	0.0	20.0	100.0
	石巻	4.5	40.9	45.4	36.4	18.2	54.6	100.0
	気山沼・本吉	0.0	34.2	34.2	60.5	5.3	65.8	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	10.4	56.7	67.1	31.3	1.5	32.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 33 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 51.6%、低関心度群は 48.3%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（55.0%）が女性（48.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（59.0%）が 65 歳未満（49.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

仙台圏域（68.6%）では、回答者全体と比較して 17.0 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（45.7%）では 5.9 ポイント、登米圏域（45.8%）では 5.8 ポイント低い。

(%)

政策 33 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった		
一般県民全体	9.9	41.7	51.6	39.9	8.4	48.3	100.0

性別	男性	12.6	42.4	55.0	36.8	8.2	45.0	100.0
	女性	7.3	41.1	48.4	43.1	8.5	51.6	100.0
年齢別	65 歳未満	8.1	40.9	49.0	43.1	7.9	51.0	100.0
	65 歳以上	15.0	44.0	59.0	31.3	9.8	41.1	100.0

圏域別	仙台	13.8	54.8	68.6	25.7	5.7	31.4	100.0
	仙南	10.0	43.7	53.7	41.1	5.2	46.3	100.0
	大崎	7.0	41.5	48.5	41.9	9.6	51.5	100.0
	栗原	10.9	38.5	49.4	41.9	8.7	50.6	100.0
	登米	11.0	34.8	45.8	46.7	7.6	54.3	100.0
	石巻	7.0	38.7	45.7	46.2	8.1	54.3	100.0
	気山沼・本吉	9.2	41.4	50.6	37.7	11.7	49.4	100.0

有効回答者数 1,613 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 58.7%、低関心度群は 41.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

大崎圏域（68.0%）では、回答者全体と比較して 9.3 ポイント高い。

回答者全体と比較して、栗原圏域（42.9%）では 15.8 ポイント、仙南圏域（48.2%）

では 10.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域（50.0%）では 8.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 80.6%、低関心度群は 19.4%である。

(%)

政策 33 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	9.0	49.7	58.7	37.1	4.2	41.3	100.0	
圏 域 別	仙台	9.5	51.7	61.2	34.5	4.3	38.8	100.0
	仙南	8.9	39.3	48.2	51.8	0.0	51.8	100.0
	大崎	9.0	59.0	68.0	28.2	3.8	32.0	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	9.1	54.5	63.6	27.3	9.1	36.4	100.0
	石巻	8.7	52.2	60.9	26.1	13.0	39.1	100.0
	気仙沼・本吉	10.5	39.5	50.0	44.7	5.3	50.0	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	25.4	55.2	80.6	17.9	1.5	19.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策 33 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 30.6%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 22.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 72.5 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 12.5 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 21.2%と推定できる。

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	55.0	40.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	25.3	(74.7)
満足度 60点未満の割合		55.9
要検討領域にある回答者全体の割合		30.6

有効回答者数；重視度 1,570人、満足度 1,553人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	1570	1553
	欠損値	151	168
平均値		66.53	51.98
平均値の標準誤差		.462	.444
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.319	17.509
分散		335.584	306.563
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	21.0	(79.)
満足度 60点未満の割合		43.5
要検討領域にある回答者全体の割合		22.5

有効回答者数；重視度 333人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	333	331
	欠損値	5	7
平均値		66.23	56.50
平均値の標準誤差		.912	.872
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		16.646	15.872
分散		277.094	251.923
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	63.00	50.00
	50	70.00	60.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	72.5	60.0	12.5
第1四分位数(25パーセントイル)	63.8	50.0	13.8
第3四分位数(75パーセントイル)	81.3	70.0	11.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.6	(86.4)
満足度 60点未満の割合		34.8
要検討領域にある回答者全体の割合		21.2

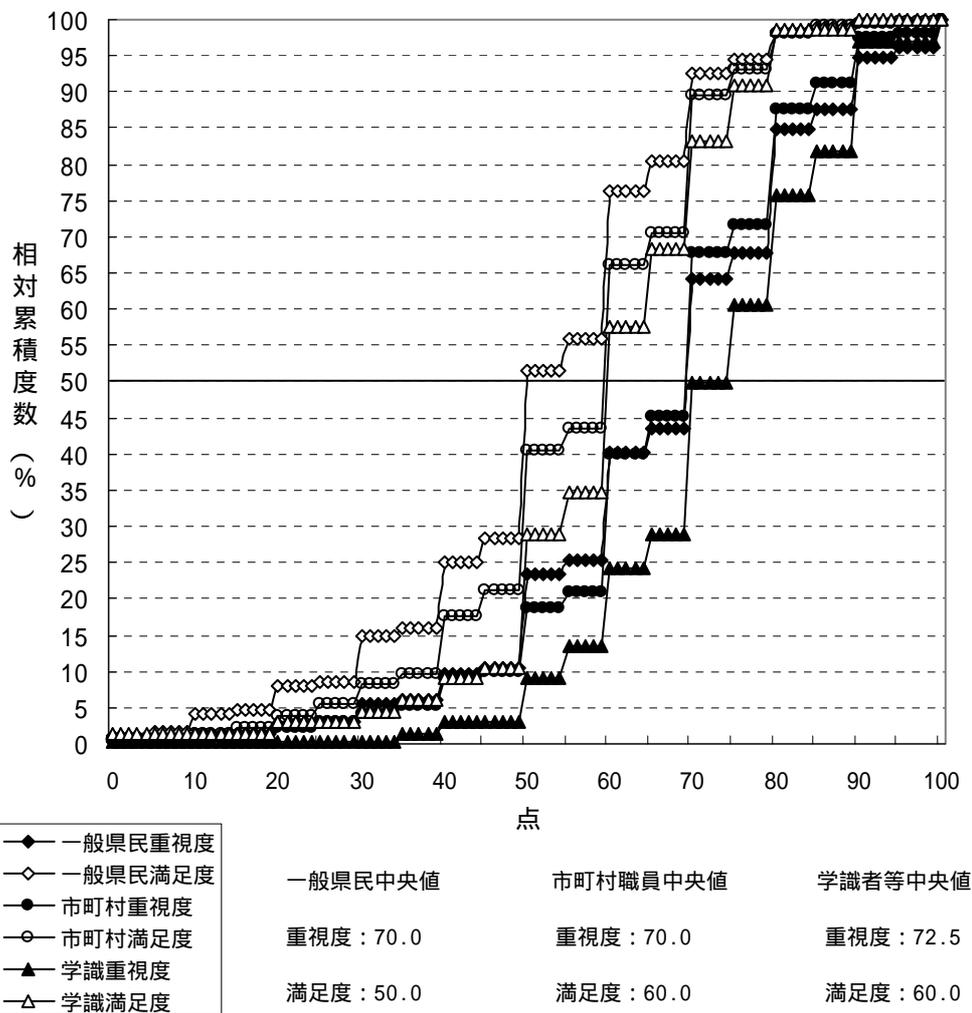
有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		72.73	60.08
平均値の標準誤差		1.711	1.719
中央値		72.50	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		13.900	13.964
分散		193.217	194.994
範囲		65	75
最小値		35	15
最大値		100	90
パーセントイル	25	63.75	50.00
	40	70.00	60.00
	50	72.50	60.00
	60	76.00	65.00
	75	81.25	70.00

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性 (12.5 点) が女性 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 31.7%、女性 29.6%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

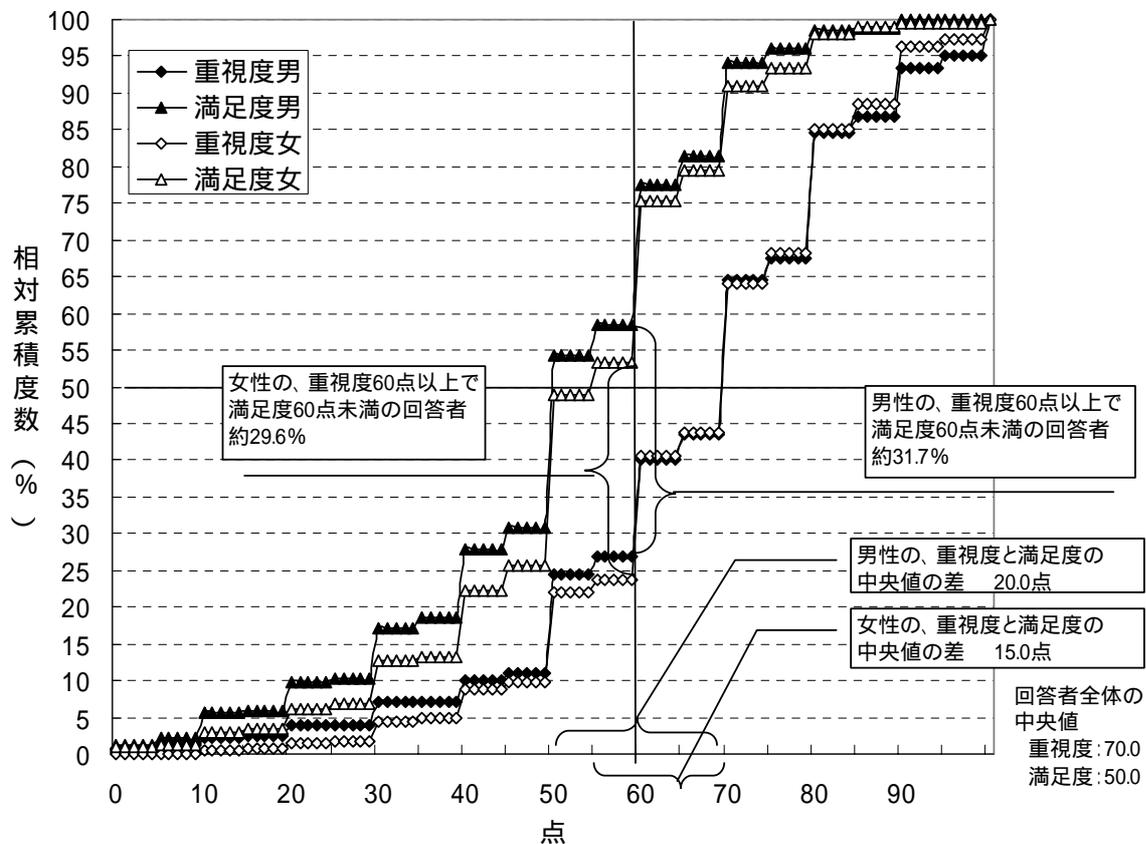
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	15.0	15.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	26.8 (73.2)	23.7 (76.3)
満足度 60 点未満の割合	58.5	53.3
要検討領域にある回答者全体の割合	31.7	29.6

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	754	747
	欠損値	49	56
平均値		66.17	50.59
平均値の標準誤差		.712	.660
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		19.548	18.033
分散		382.120	325.189
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	799	790
	欠損値	97	106
平均値		66.91	53.39
平均値の標準誤差		.601	.599
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.002	16.833
分散		289.053	283.344
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（7.5 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 29.8%、65 歳以上 33.1%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

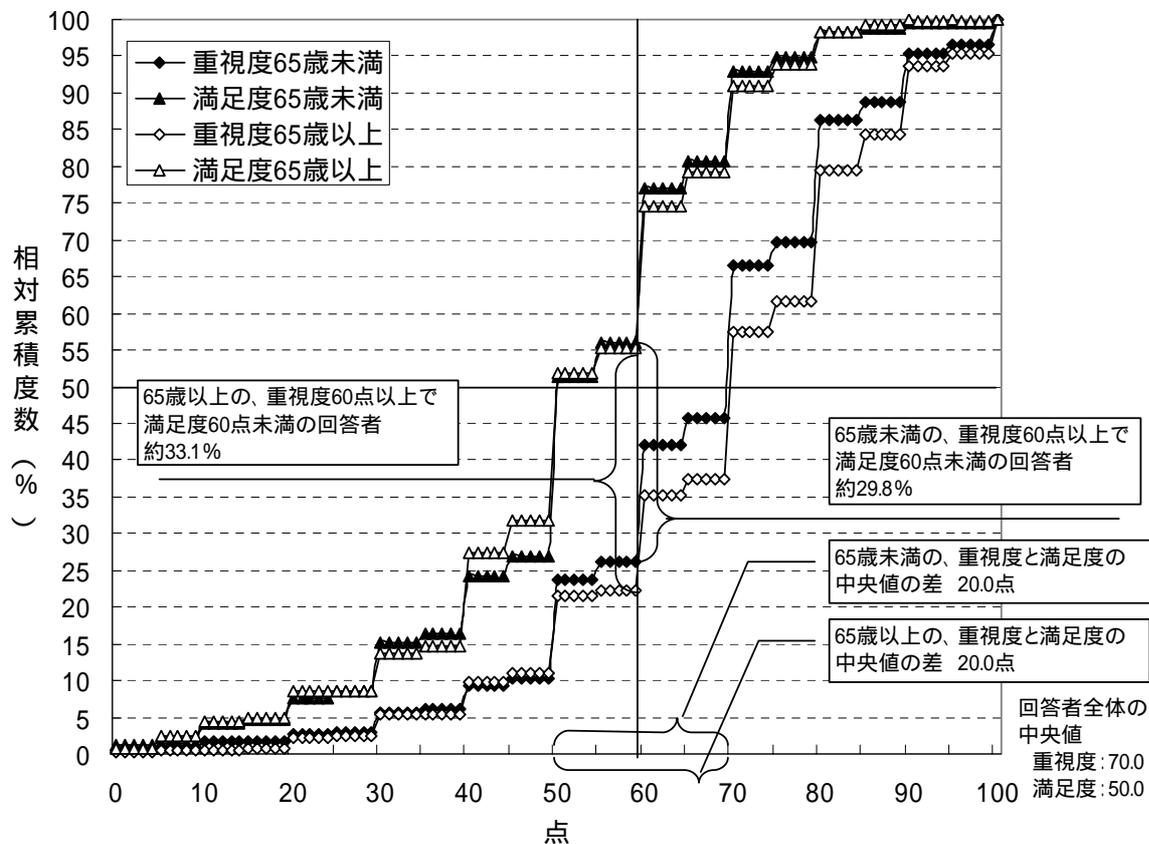
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	45.0	40.0
	かい離	15.0	10.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	7.5	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	26.2 (73.8)	22.2 (77.8)
満足度 60 点未満の割合	56.0	55.3
要検討領域にある回答者全体の割合	29.8	33.1

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	1172	1159
	欠損値	68	81
平均値		65.87	52.04
平均値の標準誤差		.531	.511
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.169	17.399
分散		330.099	302.723
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	45.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策33重視度	政策33満足度
度数	有効	379	376
	欠損値	78	81
平均値		68.65	51.97
平均値の標準誤差		.951	.917
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.517	17.780
分散		342.893	316.116
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(65.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)が回答者全体(12.5点)よりも大きく、仙台圏域(10.0点)、仙南圏域(10.0点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)、登米圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.1点)、石巻圏域(5.0点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、石巻圏域(65.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント、仙南圏域(55.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、仙南圏域(9.4点)、栗原圏域(5.0点)、石巻圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、仙南圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(7.5点)が小さい。

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0
	満足度	50.0	52.5	50.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	17.5	20.0	10.0	20.0	20.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	55.0	60.0	60.0	55.0	55.0	55.0	55.0	50.0
	満足度	40.0	45.0	40.0	43.8	40.0	40.0	50.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	11.3	15.0	15.0	5.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	20.0	15.0	15.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	10.0	10.0	12.5	12.5	12.5	12.5	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	8.1	12.5	12.5	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	60.0	70.0	60.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0	10.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	55.0	50.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	73.8	80.0	70.0	80.0	70.0	80.0
	満足度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	60.0
	かい離	10.0	10.0	3.8	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	9.4	10.0	5.0	10.0	5.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	12.5	10.0	7.5	10.0	15.0	10.0

4. 政策 33 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」(42.5%) である。

第 2 位は施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」(21.5%) である。

第 3 位は施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」(16.1%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」(48.3%) である。

第 2 位は施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」(24.8%) である。

第 3 位は施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」(11.0%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」(32.8%) である。

第 2 位は施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」(29.9%) である。

第 3 位は施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」(20.9%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 6 圏域では施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」、気仙沼・本吉圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」、石巻圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、気仙沼・本吉圏域では施

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」である。

第 3 位は、仙南、栗原、登米の 3 圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、仙台、大崎の 2 圏域では施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」である。

市町村職員では、

第 1 位は、全圏域とも施策 2 「仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用」である。

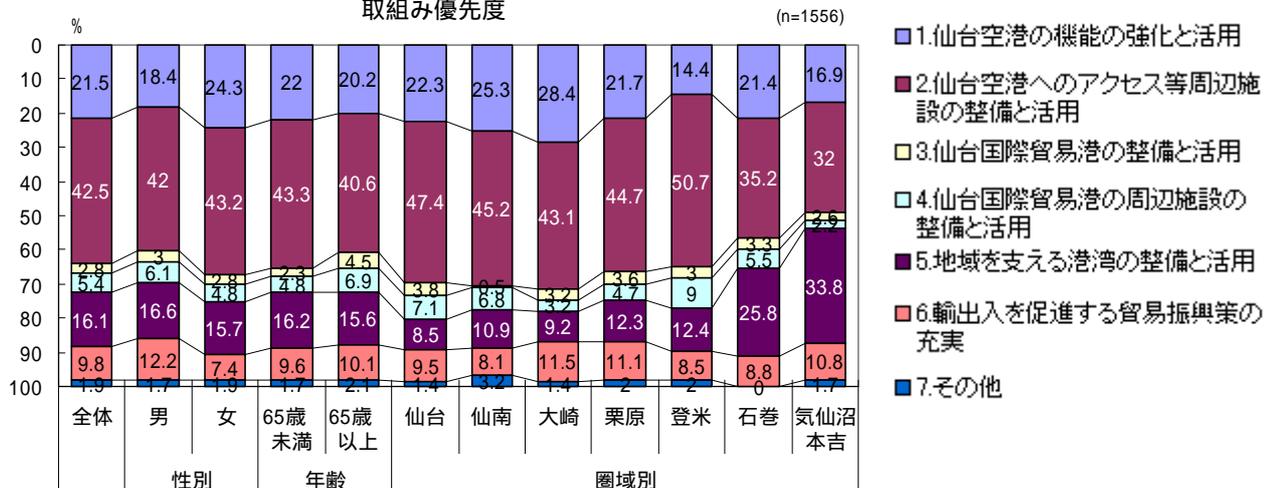
第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、登米圏域では施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」である。

第 3 位は、仙台、仙南、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 6 「輸出入を促進する貿易振興策の充実」、大崎、栗原の 2 圏域では施策 5 「地域を支える港湾の整備と活用」、登米、石巻の 2 圏域では施策 1 「仙台空港の機能の強化と活用」、栗原、登米の 2 圏域では施策 3 「仙台国際貿易港の整備と活用」、栗原圏域では施策 4 「仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用」と施策 7 「その他」である（栗原圏域では施策 3 と施策 4 と施策 5 と施策 6 と施策 7 が、登米圏域では施策 1 と施策 3 が、石巻圏域では施策 1 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

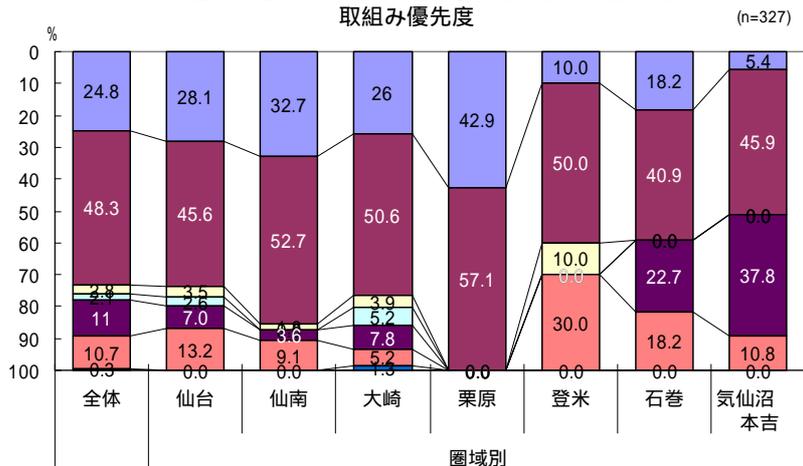
【一般県民】

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」
取組み優先度



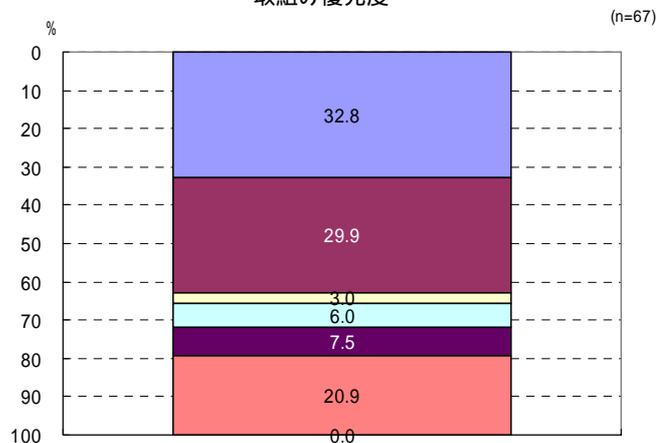
【市町村職員】

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」
取組み優先度



【学識者等】

「政策33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」
取組み優先度



政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.仙台空港の機能の強化と活用	21.5	18.4	24.3	22.0	20.2	22.3	25.3	28.4	21.7	14.4	21.4	16.9
2	2.仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	42.5	42.0	43.2	43.3	40.6	47.4	45.2	43.1	44.7	50.7	35.2	32.0
3	3.仙台国際貿易港の整備と活用	2.8	3.0	2.8	2.3	4.5	3.8	0.5	3.2	3.6	3.0	3.3	2.6
4	4.仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	5.4	6.1	4.8	4.8	6.9	7.1	6.8	3.2	4.7	9.0	5.5	2.2
5	5.地域を支える港湾の整備と活用	16.1	16.6	15.7	16.2	15.6	8.5	10.9	9.2	12.3	12.4	25.8	33.8
6	6.輸出入を促進する貿易振興策の充実	9.8	12.2	7.4	9.6	10.1	9.5	8.1	11.5	11.1	8.5	8.8	10.8
7	7.その他	1.9	1.7	1.9	1.7	2.1	1.4	3.2	1.4	2.0	2.0	0.0	1.7

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.仙台空港の機能の強化と活用	24.8	28.1	32.7	26.0	42.9	10.0	18.2	5.4
2	2.仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	48.3	45.6	52.7	50.6	57.1	50.0	40.9	45.9
3	3.仙台国際貿易港の整備と活用	2.8	3.5	1.8	3.9	0.0	10.0	0.0	0.0
4	4.仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	2.1	2.6	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
5	5.地域を支える港湾の整備と活用	11.0	7.0	3.6	7.8	0.0	0.0	22.7	37.8
6	6.輸出入を促進する貿易振興策の充実	10.7	13.2	9.1	5.2	0.0	30.0	18.2	10.8
7	7.その他	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.仙台空港の機能の強化と活用	32.8
2	2.仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	29.9
3	3.仙台国際貿易港の整備と活用	3.0
4	4.仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	6.0
5	5.地域を支える港湾の整備と活用	7.5
6	6.輸出入を促進する貿易振興策の充実	20.9
7	7.その他	0.0

政策 33 「国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化」